

平成 30 年度事業報告について

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I. 概況

平成 30 年度事業については、公益目的支出計画に基づき継続実施事業とその他事業を実施しました。継続事業については、文化交流事業推進、教育事業支援に関する各事業を実施しました。

その他事業については、医療人材育成事業、日越外交関係樹立 45 周年記念コンサートの開催、代々木ベトナムフェスタ 2018、ベトナムフェスタ in 神奈川への協賛などを実施しました。

II. 継続実施事業内容

1. 文化交流事業の推進

① ダナンでの小・中・高等学校の生徒たちに生の音楽の楽しさを伝導啓蒙(2019 年 1 月)

今回は日越親善文化交流事業の一環としてダナンの小学校、中学校、高等学校で訪問演奏会を行いました。ピアニストの村田千佳さん、バイオリニストの長尾春花さん、そして「千の風になって」で有名なテノール歌手秋川雅史さんとその息子さん 14 歳のピアニスト風雅さんを伴い子ども達に音楽の楽しさを伝えました。特に風雅さんは同世代ということもあり、凄まじい人気で舞台から引きずり降ろされんばかりの握手攻めでした。

ゴー・マイ小学校、グエン・フエ中学校、タイ・ソン中学校、ファン・チュウ・チン高等学校、4 校を回り、活動の様子をベトナムの地元 TV や新聞の電子版などに掲載していただきました。ウェルカムパフォーマンスあり、生徒と奏者との校歌の合唱ありと盛り沢山でした。明日のベトナムを背負う子ども達の純真無垢でキラキラ輝く好奇心に満ちた笑顔を見る事が出来ました。きっと子供たちの思い出に残ることでしょう。

② 日越外交関係樹立 45 周年記念コンサートの開催実行委員長を務める(2018 年 7 月)

「ベトナム国立交響楽団日本公演 2018 実行委員会」の招聘による記念コンサートの実行委員長を当財団の筒井理事長が務め、大阪ザ・シンフォニーホール、東京サントリーホールにて賑々しく開催をいたしました。特に東京会場には、天皇皇后両陛下のご臨席も賜り、来場者には大変思い出に残るイベントになりました。演奏曲目はチョン・バンの交響詩「幸せを私たちに運んでくれた人」、ドヴォルジャークの「チェロ協奏曲」と「交響曲第九番新世界より」。ベトナム国立交響楽団は、5 年前に続き 2 回目の訪日だが、ほぼ満員の聴衆と両陛下までお迎えして歴史的な成功となりました。マエストロ本名徹次さんの端正で的確な指揮姿に感心し、また宮田大さんのチェロもかつて聴いたことのない、水晶のようなよく透る音色に絶句し、暖かい拍手だけで感動を伝えることのできる良識ある聴衆に共鳴して、冒頭の国家吹奏からアンコールの民族曲まで、素晴らしい時を過ごしました。そして両陛下はオケの最後のひとりが退場するまで拍手をされ、日本人・ベトナム人の聴衆全員が起立して喝采するなか、ゆっくりと退場されていきました。忘れがたい心地よい余韻の残る演奏会となりました。

③ ホーチミンでの小・中・高等学校の生徒たちに生の音楽の楽しさを伝導啓蒙(2018 年 10 月)

ホーチミンの中学校(ヴォン・トゥオン・トアン中学校、レ・グイ・ドン中学校)を回り、第一級のピアニスト&ヴァイオリニストを伴い「生の音楽」を聴いてもらう啓蒙活動を実施しました。

ホーチミンの子供たちも学ぶ力、好奇に満ちた熱い眼差しが素晴らしい！長尾春花さんが舞台を降りて、生徒たちの周

りで弾き始めると子供達が大興奮、村田千佳さんのショパンの子犬のワルツに生徒たちもうっとり、「音楽に国境なし」です。ここでも学ぶ姿勢がいいし、屈託が無く謙虚です。

ベトナムの未来は明るい!!

④ 「代々木ベトナムフェスタ 2018」,「ベトナムフェスタ in 神奈川」への協賛

代々木公園でも、横浜でのフェスタでもいづれも日本最大規模のイベントであり、当財団でもわずかですが協賛金を拠出し、自前のブースを運営しました。2008年の初開催より10回目を迎える今回のイベントは、日越外交関係樹立45周年記念も手伝って両国の更なる交流を実現し、深化した日越文化交流の祭典として大いに盛り上がりを見せました。

2. 教育事業の支援

① ハノイ日本語センター支援

当財団では、ハノイ日本語センターやヌイチュック日本語学校への日本語教師の派遣(現在2名派遣中)を始めて10年以上が経ちました。カリキュラム作成などの多面的な支援をおこない、ベトナムでの日本語教育の草分け的な存在として、日本語教育の推進に貢献してまいりました。主に中級、上級クラス、ビジネスコースを中心に日本語授業の実施を支援していましたが、前年度より上級会話コースの運営も始まりました。今後さらに、教育環境並びに教材の整備等、質の高い日本語教育を実施できるよう支援していきます。

② 日本語スピーチコンテストの開催(2018年10月)

日本に憧れ、日本の文化や日本語を勉強し、日本に行ってみたい、働きたいと願っているベトナムの若者たちが多くいます。小学校から日本語を第一外国語として位置付ける地域も出ています。今期は、昨年ハノイに続いてホーチミンで「日本語スピーチコンテスト」を開催しました。応募者の中からまず書類選考で13名に絞り、ホンバン大学の立派な講堂をおかりして公開審査をしました。審査員は、長谷川中央大学教授が委員長を務め、マブチメディカルクリニック馬淵院長、日本・ベトナム文化交流協会芸術監督村田千佳さん、順天堂病院教授阿曾沼元博先生、大津市民病院副院長戸田省吾先生の5名による厳正な審査の結果、一位に選ばれたのは、福沢諭吉の「学問のすすめ」を読んで勉強することの大切さを知り、日本が大好きになったヴォ・ティ・タオさんです。賞品には日本旅行が贈呈されました。他の参加者も誠によく日本語を学ばれていて、そのスピーチから熱い志が伝わってきました。この企画はぜひ今後も続けていきたいと考えています。

III. その他事業

① 医療人材育成事業の推進

2018年10月から2か月にわたって、タイン先生(放射線治療医師)、ミー先生(放射線診断科医師)、フオン先生(放射線技師)の3名に済生会中津病院において研修を受けていただきました。日本で学んだ最新医療技術を生かして、ベトナムの医療発展に役立ててくれるものと確信しています。また、2019年1月に文化活動でダナンの学校を回った際に、ダナンがん病院も訪問してがん患者さんたちにヴァイオリン演奏を聴いていただき心の癒しをさせていただきました。その場には、過去当財団の招聘によって済生会病院で研修を受けていただいたドクターたちにお集まりいただき、意見交換をする機会を得ました。皆さん、立派に指導的立場になって活躍されている姿が大変頼もしく感じました。

② 高等学校のベトナム研修旅行支援

渋谷教育学園高等学校:

毎年 1 年生を対象にベトナム研修を実施しています。本年の研修も昨年と同様にハノイ郊外での社会見学と同年代のベトナムの学生との交流を図ることを目的に企画されたものです。同学園から、現地で生徒さんと案内して一緒に行動して頂ける日本語が話せるベトナム人学生の紹介依頼があり、当財団が支援しているハノイ日本語センターの学生 5 名に同行していただき、日本の高校生との交流を図りました。(2018 年 12 月)

IV. 理事会と評議員会の開催

(理事会)

第 1 回理事会

開催日時 平成 30 年 5 月 16 日(火) 14:00~15:00

財団会議室

- 議決事項
- 1) 平成 29 年度事業報告書の承認について
 - 2) 平成 29 年度決算報告書の承認について
 - 3) 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - 4) 理事候補者と監事候補者の承認について

第 2 回理事会

開催日時 平成 30 年 6 月 1 日(金) 14:00~14:20

開催場所 財団会議室

- 議決事項
- 1) 代表理事・執行理事の選出について

第 3 回理事会

開催日時 平成 31 年 3 月 27 日(水) 11:00~11:20

開催場所 財団会議室

- 議決事項
- 1) 平成 31 年度事業計画の承認について
 - 2) 平成 31 年度事業予算の承認について

(評議員会)

第 1 回評議員会

開催日時 平成 30 年 5 月 31 日(水) 11:30~12:00

開催場所 財団会議室

- 議決事項
- 1) 平成 29 年度事業報告書の承認について
 - 2) 平成 29 年度決算報告書の承認について
 - 3) 理事候補者と監事候補者の承認について